



平成23年11月10日

各位

上場会社名 常 磐 興 産 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 斎藤 一彦
コード番号 9675 (東証第1部)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長 秋田 龍生
電 話 番 号 03-3663-3411

平成24年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想並びに新中期経営計画に関するお知らせ

平成23年10月7日に公表した平成24年3月期第2四半期(累計)(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、平成23年11月10日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の通期業績予想を下記のとおりいたしましたので、併せてお知らせいたします。

さらに、当社は、上記取締役会において、今後3ヶ年の新中期経営計画につきましても決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成24年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1)業績予想値と実績値との差異

<連結>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	7,660	—	—	—	—
今回発表実績(B)	7,662	△514	△794	△6,861	△86円52銭
増減額(B-A)	2	—	—	—	—
増減率(%)	0.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	18,892	1,203	976	845	10円40銭

<個別>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	5,940	—	—	—	—
今回発表実績(B)	5,934	△630	△860	△7,037	△88円73銭
増減額(B-A)	△5	—	—	—	—
増減率(%)	△0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	17,109	1,060	780	1,258	15円60銭

(2) 差異が生じた理由

当社は、平成23年10月7日に平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。その際、売上高以外の項目については、合理的な業績予想を算定することができず、予想値の発表を控えさせていただいておりましたため、本日公表値との間に差異が生じたものであります。

2. 平成24年3月期通期業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(1) 業績予想

<連結>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	27,580	△1,980	△2,870	△9,390	△118円92銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	33,240	982	368	△367	△5円06銭

<個別>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	24,450	△2,040	△2,920	△9,490	△120円18銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	29,843	796	157	43	0円10銭

(2) 通期業績予想発表の理由

当社は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び平成23年4月11日に発生したいわき市を震源とする地震の影響により、合理的な業績予想の算定が困難であったことから、これまで未定としておりました平成24年3月期通期業績予想が、このたび明らかになったためこれを公表するものであります。

3. 新中期経営計画

I. 新中期経営計画の位置付け

現中期経営計画におきましては、新ホテル「モノリス・タワー」建設等コア事業である観光事業へのさらなる経営資源の投下による収益基盤の強化や顧客満足度の向上等を掲げ、ほぼ計画通りの進捗状況でありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び同年4月11日に発生したいわき市を震源とする地震により、当社が運営するスパリゾートハワイアンズが被害を受け、10月1日に一部施設が再開できたものの、本日公表いたしましたとおり主力のウォータープーク及び新ホテル「モノリス・タワー」が平成24年2月8日にグランドオープンを予定しておりますように、全面復旧にはもうしばらく時間を要する状況にあります。

このような中、東日本大震災による被害から1日でも早く復興するために、本日公表いたしましたとおり、新株式（優先株式）の発行を行い財務基盤の健全化を図るとともに今後の事業計画として、新中期経営計画を策定いたしました。

今般の全面復旧に関しましては、当社のお取引金融機関の皆様より残高維持等多大なるご支援とご協力をいただいております。特に、全面復旧に伴う資金需要のうち、総額 70 億円を下記の金融機関の皆様からのご支援により、新たに資金調達を行うことを予定しております。下記の金融機関の皆様を中心としたお取引金融機関の皆様には多大なるご支援をいただきますことを心より御礼申し上げます。

弊社としましては、平成 24 年 2 月 8 日のグランドオープンに向けて、及び今般作成した新中期経営計画の遂行に向けて、全社一丸となって取り組む所存です。

引き続き、地域の皆様、株主の皆様、新株式会社をお引き受けいただく投資家の皆様、及びお取引金融機関の皆様など、関係者の皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

<総額 30 億円の新株式（優先株式）をお引き受けいただく投資家>

ふくしま応援ファンド投資事業有限責任組合

ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第壱号投資事業有限責任組合

みずほ東北産業育成投資事業有限責任組合

<総額 70 億円の資金調達につきご支援いただく金融機関>

株式会社日本政策投資銀行

株式会社みずほコーポレート銀行

みずほ信託銀行株式会社

株式会社三菱東京UFJ銀行

株式会社常陽銀行

株式会社東邦銀行

株式会社秋田銀行

株式会社七十七銀行

II. 新中期経営計画の概要

1. 中期経営計画の骨子

(1) 3年後に震災前の姿へ復活

～風評による逆風のなか平成26年度に日帰り145万人、宿泊40万人へ～

①日帰り部門

- ・地元圏のシニア市場の新規開拓、新会員制度の導入

②宿泊部門

- ・新商品（低価格商品と高品質商品）投入による市場拡大
- ・首都圏におけるコア集客エリアの拡大
- ・インバウンドの拡大

(2) 収益力の強化

①消費単価アップ

- ・販売効率の強化、商品魅力の強化、顧客接点の強化

②コスト削減の徹底

- ・集中購買の範囲拡大によるコスト削減
- ・シフトルール確立、目標労働時間設定による生産性の向上による人件費の削減

2. 財務目標

<連結>

(単位：億円)

	H22年度 実績	H23年度 見込み	H24年度 計画	H25年度 計画	H26年度 計画	H27年度 目標
純資産額	151	87	78	87	100	117
NET有利子負債	234	295	311	295	275	250
E B I T D A	21	△20	15	33	36	40

<個別>

(単位：億円)

	H22年度 実績	H23年度 見込み	H24年度 計画	H25年度 計画	H26年度 計画	H27年度 目標
純資産額	143	78	68	76	88	104
NET有利子負債	241	298	314	298	279	256
E B I T D A	19	△22	12	31	34	38

3. 経営目標

<連結>

(単位：百万円)

	H22年度 実績	H23年度 見込み	H24年度 計画	H25年度 計画	H26年度 計画	H27年度 目標
日帰り(千人)	1,336	273	1,000	1,350	1,450	1,550
宿泊(千人)	336	57	280	365	400	450
売上高	33,240	27,580	39,110	47,230	48,040	49,110
営業利益	982	△1,980	180	2,060	2,360	2,810
経常利益	369	△2,870	△610	1,270	1,570	2,020
当期純利益	△368	△9,390	△740	1,140	1,440	1,890

<個別>

(単位：百万円)

	H22年度 実績	H23年度 見込み	H24年度 計画	H25年度 計画	H26年度 計画	H27年度 目標
売上高	29,843	24,450	35,980	44,100	44,910	45,980
営業利益	797	△2,040	50	1,930	2,230	2,680
経常利益	157	△2,920	△740	1,140	1,440	1,890
当期純利益	43	△9,490	△840	1,040	1,340	1,790

以上